

ようこそ

言語文化科目へ

2019

- ・ 中国語
- ・ 韓国語
- ・ ドイツ語
- ・ フランス語
- ・ スペイン語
- ・ 日本語



◎ 中国語

中国語の世界へようこそ！

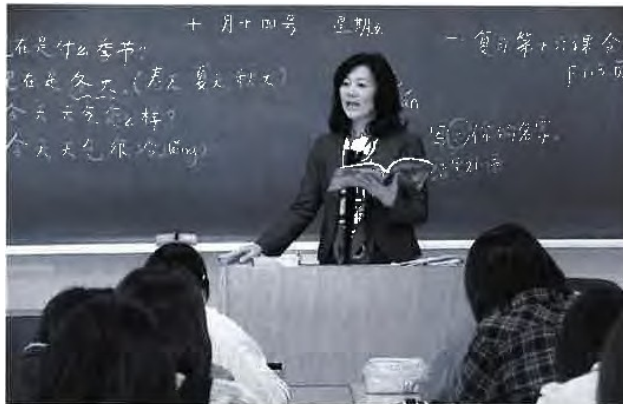
中国語に挑戦すれば、ヨーロッパに匹敵する広がりを持ち、地球上の総人口中5分の1の話者を持ち、4000年の歴史をもつ中国語の世界を、あなたは自分のものにできます。また、古今東西が混じりあって大変貌を遂げつつある中国、それもあなたは自分の未来のフィールドにすることができるのです。

さあ、中国語を学んで、海を超えて中国へひとつ飛び！夏休みにみんなで上海の各種研修に参加してみましょう。

学中文，到中国！

■ 中国語基礎科目

1年次配当の基礎科目1・2では、一般クラスのほかに口頭クラスもあり、生きた中国語を超特急で叩き込みます。週2回の授業は、基本的にネイティブの先生が担当します。ファイトのあるあなたを歓迎します。基礎科目には2年次配当の3・4もあります。



なお、中国語は最初がけっこうキツイです。それは、発音がとても難しいからです。また、中国式の略字やローマ字による発音記号も覚えなければなりません。でも、その壁を越えてしまえば、あとはみなさんにとってものすごい障壁はありません。基礎科目を1年間しっかり学んで、最初の壁を突破しましょう。

■ 中国語応用科目

中国語は入り口で大変な思いをしますから、1年間勉強しても、まだ十分な手ごたえは感じられないかも知れません。もっとやりたいあなたには、次のような道があります。

目標その1：検定試験

《そのための授業》

松山大学では、英検タイプの中検（中国語検定試験）が年3回実施されています。まずはこの中検で実力をつけていきます。

ステップアップ・キャリアアップⅠ～Ⅲ。ステップアップは中検準4級を、キャリアアップⅠは中検4級を、キャリアアップⅡは中検3級を、キャリアアップⅢは中検2級を、それぞれ射程に入れた授業です。

目標その2：留学

松山大学では、夏休みの短期中国語研修講座(上海)があり、現地で生きた中国語に接して自信をつけるだけでなく、小旅行にも行きます。参加者には大学から一定額の助成金が支給されます。

それから、中検で4級以上をとっていると利用できる助成制度もあり、1人で好きなところへ語学研修に行くための助成金が大学から出ます。これを利用するには、早くから検定に挑戦し始めなければなりません。

助成制度以外にも中国の復旦大学・上海師範大学・上海財経大学・台湾の国立高雄大学などへの派遣留学制度（1年間もしくは半年）もあります。

（詳しくは国際センターに問い合わせてください。）

《そのための授業》 コミュニケーションⅠ・Ⅲ

中国に関するさまざまなことを中国語で話せるようになるための授業で、先生はネイティブです。

コミュニケーションⅡ・Ⅳ

中国各地で旅行したり生活したりするのに必要な会話力獲得のための授業で、もちろん先生はネイティブです。

《その他の授業》

リーディングⅠ・Ⅱ

中国語の読解力をつけたい人はこの授業をとって、どんどん読み進めましょう。たくさん読むと、語彙力も飛躍的に上昇します。

ライティングⅠ・Ⅱ

簡単な中国語の文や短い手紙が書けるようになります。自分で書くことによって、自信がどんどんついていきます。



*以下のウェブサイト（検定・留学関係）も、ぜひのぞいてみてください。

中国語検定試験

<http://www.chuken.gr.jp/>

HSK（漢語水平考試）

日本：<http://www.hskj.jp/>

中国：http://www.hanban.edu.cn/tests/node_7486.htm

復旦大学

<http://www.fudan.edu.cn/>

上海財経大学

<http://www.shufe.edu.cn/>

上海師範大学／上海師範大学对外漢語学院

<http://www.shnu.edu.cn/> / <http://iccs.shnu.edu.cn/>

いよいよ韓国語



これからの**グローバル (Global+Local)** 時代を生きる皆さんに、ぜひ隣の国の言葉を学んでみることをお勧めします。韓国語を受講するようになった皆さんは、大学の4年間を通して、韓国(朝鮮)語の文字である「ハングル」を読むところから始まり、挨拶や簡単な決まり文句を話し、徐々に単語と文の意味が分かるようになるでしょう。さらには、言葉を通して隣の国の文化を理解し、韓国語を話す人々に自分の生まれ育った社会や文化について語りたいという気持ちになってくれることを願っています。

ここで、韓国語は全く分からないというあなたのためにいくつかのTipをお教えしましょう。
*韓国語の文字である「ハングル」は、10個の基本母音字と14個の基本子音字からなっていて、英語のアルファベットの26個よりも2個少ないのです。つまり、24個の文字さえ覚えてしまえば、授業の初日から韓国語が読めるようになります。

*日本語と韓国語は、語順と文法がよく似ているだけではなく語彙面でも共通点があります。一例として、日本語の「都市」「図書館」「運動」は、それぞれ韓国語で [トシ] [トソグァン] [ウンドン] と発音されます。これは、日本語と韓国語が共に漢字圏に属しているため、漢字をベースにした言葉の発音が非常に似ているからです。

この他にもまだあなたの知らない韓国語と日本語のふか〜い関りを、今度はぜひ授業の中で体験してみてください。

授業案内

◇ 基礎科目一「韓国語1」「韓国語2」(1年次) / 「韓国語3」「韓国語4」(2年次)

前期には「韓国語1」を学びます。「韓国語1」では、韓国語の文字を読む練習から始め、簡単な決まり文句や挨拶表現を勉強し、基本語彙もしっかり学びます。「韓国語1」は、「ハングル能力検定試験5級」を学習到達目標としています。

後期の「韓国語2」では、語学力をさらにアップするとともに、幅広い韓国文化に接する機会を多く設けています。後期が終わる頃にはあなたもちょっとした韓国通になっているかもしれませんね。

「韓国語2」は、「韓国語能力試験TOPIK I(1級)」を学習到達目標としています。

基礎をよりしっかり固めたいという方には、基礎科目「韓国語3」「韓国語4」をお勧めします。



◇ 応用科目 (2年次以降)

基礎科目の「韓国語1・2」を修了した方が受講できます。

応用科目としては、言語の4技能の習得に適した「韓国語コミュニケーションⅠ~Ⅳ」、「韓国語リーディングⅠ・Ⅱ」、「韓国語ライティングⅠ・Ⅱ」、「韓国語ステップアップⅠ」、「韓国語キャリアアップⅠ・Ⅱ」があります。2年次では、自分が興味がある授業科目が自由に選択できます。選択科目の特徴や学習レベルについては、1年後期の授業で担当の先生から別途案内が行われます。

◇ 言語文化講義科目 (2年次以降)

基礎科目の「韓国語1・2」を修了した方が受講できます。

「初習言語文化研究(韓国語)」は、韓国語の基礎力を身につけた上、さらに文化理解に焦点を当てた講義科目になります。半期だけの開講になりますので、応用科目に加えて講義科目も受講してみてください。

授業外活動

正規の授業科目の他にも韓国語の先生と楽しくおしゃべりしながら学べる「チャットルーム」の時間が設けられています。また、検定試験も充実していて、それぞれ「韓国語能力試験」と「ハングル能力検定試験」が年2回以上実施されます。愛媛県の指定試験会場は、なんと松山大学だけ！その他、夏休みを利用した短期語学研修講座(韓国語)や海外語学研修助成制度(春季・夏季)、協定校で学ぶ6か月以上の派遣留学制度など、様々な留学プログラムで皆さんの語学力アップをサポートしています。

◎ ドイツ語

■ ドイツ語基礎科目

福島での原発事故の後、ドイツはいち早く脱原発政策をとることを世界に向けて発信しました。続いてスイスも脱原発を宣言し、もともと原発をもたないオーストリアを加え、ドイツ語圏諸国はヨーロッパの中で脱原発の推進役となりました。これは市民の高い環境意識の表れです。中でも松山の姉妹都市フライブルクは、ドイツの環境首都として知られています。

ドイツ語圏はヨーロッパの中心部に位置します。ヒトラーのナチスドイツ、冷戦下のベルリンの壁という暗い過去を正視しつつ、ドイツは現在EUを経済的・政治的に牽引しています。ドイツ語を母語とする人は、約1億人を数え、ヨーロッパで最多です。中世の雰囲気を残す街並み、アルプスの風土とウインター・スポーツ、モーツァルト、ベートーベンをはじめとするクラシック音楽、BMW、ベンツ、ポルシェといった高級車、サッカー・ブンデスリーガなど、文化やスポーツ面でも、ドイツ語圏にはさまざまな魅力があります。

ドイツ語は皆さん初めてでしょうから、どんな言葉なのか説明しましょう。外国語に苦手意識を持っているかもしれませんが、ドイツ語には次のようなメリットがあります。

1. **発音がローマ字風で英語よりずっと簡単。**（Haus[ハウス]=家、Name[ナーメ]=名前）
2. 同系統の兄弟語で、単語も文法も**英語に似ているので、英語を学んだ皆さんにはとっつきやすい。**
（英：I study sociology. 独：Ich studiere Soziologie. 社会学を学んでいます。）
3. 英語と同じアルファベットと用いるので、**改めて文字を覚える必要がない。**

松山大学にはネイティブ・スピーカーの先生がいますし、語学研修や留学助成制度も充実していますので、ドイツ語能力を身につけるにはとても恵まれた環境です。

実際の授業はどう進められるのでしょうか。

ドイツ語圏やヨーロッパにちょっとでも関心があるひとには**口頭クラス**がお勧めです。このクラスは25人程度の少人数で、日本人とネイティブの担当教員が、進度や試験はもちろん個々の学生のことも含め、情報を密に交換しながらきめ細かく授業をデザインしています。授業はパートナー学習やゲームを交え、「話す」と「聴く」を中心に楽しく進み、「読む」「書く」力を含めて総合的に学べます。（文法は一般クラスよりもゆるやかに進みます）。

一般クラスも担当教員はみな熱心なプロです。少しずつドイツ語に慣れながら基礎を固めたうえで（基本的な文法は一通り終了します）、2年生になったら応用科目でステップアップするのも良いでしょう。



■ ドイツ語応用科目

1年次は英語と初習言語ひとつが選択必修ですが、2年次では前後期で2単位ずつ英語または初習言語を履修します。履修するうえで参考になるよう、4つのモデルに分けて紹介しましょう。

1. **留学準備モデル** ドイツ語スタッフが一押しに薦める、短期ドイツ語研修に参加するためのコースです。ネイティブ・スピーカーによるコミュニケーションⅠ・Ⅲと日本人教員によるコミュニケーションⅡ・Ⅳがあります。ドイツでの旅や日常生活に役立つ情報、語学教室や滞在先の学生寮で用いる表現が学べます。
2. **独検対策モデル** 「学生海外語学研修助成制度」の奨学金（昨年度実績は40万円）を利用して短期語学研修をするため、奨学金獲得の条件となるドイツ語検定試験合格を目指すものです。4級対策のキャリアアップⅠと3級対策のキャリアアップⅡ・Ⅲがあります。Ⅰ・Ⅲの同時履修も可能です。
3. **ステップアップ・モデル** 1年次に学んだドイツ語を復習しながら、ドイツ語の読解力、表現力を向上させるコースで、ステップアップⅠとⅡがあります。英語だけではなく、学び始めたドイツ語をとりあえず続けようという人に向いています。
4. **レベルアップ・モデル** ライティングとリーディングの二本立てで、基礎科目で学んだ知識にさらに磨きをかけるものです。あくまでも楽しくゆっくり進むのがモットーです。

■ 語学研修と留学

ドイツ語圏に行くチャンスはいろいろあります。

まずは夏休みの**短期ドイツ語研修**です。松山大学の姉妹校のフライブルク大学で行われます。費用は自費で30万円程度、約4週間の研修で、単位認定されます。

「海外研修には行きたいんだけど、お金が…」という方はぜひ、**学生海外語学研修助成制度**にチャレンジしてください。**ドイツ語検定試験（独検）4級以上**に合格できれば、夏休みまたは春休みのドイツ語研修のため、40万円の奨学金に応募できます。独検合格を目指す対策講座を受講すれば、受験対策もばっちりです。

短期語学研修や助成制度による語学研修で、ドイツ語圏の魅力にはまった方は、フライブルク大学との**交換留学**を目指しましょう。フライブルク大学から奨学金をもらい、1年または半年間、フライブルク大学で学ぶことができます。ここまでやれば、ドイツ語はほとんどマスターしたことになります。

その他、全国から学生と、日本・ドイツ語圏の教員が集まり、寝食をともにしながらドイツ語を学ぶ**合宿研修・インターユニゼミナール西日本**など、ドイツ語を実地で学ぶ機会はたくさんあります。

ドイツ語をきっかけに、君も松山から世界に飛び出しませんか！

後輩のみなさん、こんにちは。私は卒業後に保育士資格を取り、現在はドイツの幼稚園で、かわいい子どもを相手に働いています。きっかけは大学の内外での授業。授業やインターユニでドイツに興味を持ち、在学中には1年間の休学までして、オーペアという子守の制度で、ドイツ人家庭にホームステイし、交換留学制度でフライブルクでも学生生活を。滞在中は周辺の国にも旅行しました。慣れない土地や食事、価値観の違いなどに、不安もありましたが、それを上回る貴重な経験が出来ました。

自分の視野や可能性を広げたい方、ドイツ語の扉を開いてみませんか？ そして勇気を出して海外に。かけがえのない財産を手に入れることが出来ます！



◎ フランス語

Bonjour! こんにちは! フランス語へようこそ!

大学ではフランス語を勉強して、芸術、文化、美食、ファッションの国フランスへ行ってみよう! その時には、授業で覚えたフランス語を使って、「アン・カフェ・シルヴブレ」(コーヒーを一杯ください)、「ウエラ・スタッション・ドゥ・メトロ?」(地下鉄の駅はどこ?) というように、フランス人とのコミュニケーションを楽しみましょう。



モンマルトルとサクレ・クール大聖堂

■ 言語文化基礎科目

1年次のスケジュール

4月 「とにかくフランス語が話したい!」 →
「やっぱり基本は文法から!」 →
11月 実用フランス語検定試験5級にチャレンジ

口頭クラスへ
通常クラスへ

1年次の目標

「フランス語は何となく難しそう…」とと思っているあなた! そんなことはありません! フランス語には英語と形がよく似た単語がたくさんあります(英単語の約半分はフランス語起源なので)。例えば「テーブル」は、フランス語でも Table と綴ります。英語と同じですね。あとは、フランス語の発音と綴り字の規則を覚えれば大丈夫。フランス語の発音規則は英語よりもずっと例外が少ないので、一年のうちにマスターしてしまいましょう(ちなみに Table はフランス語だと「ターブル」とローマ字風に発音)。ネイティブの発音に慣れたいという人には、口頭クラスがお勧めです。一年次からフランス人の先生と勉強できます。優雅で音楽的なフランス語のリズムに触れながら、挨拶、自己紹介、自分の好き嫌い、趣味…と、いろいろフランス語で話してみましょ。フランス人はおしゃべりで自分の意見を述べるのが大好きです。フランス人になって、間違いを恐れず大きな声でたくさんしゃべりましょ! 会話も大切だけれども、まずは文法からという人には通常クラスがお勧めです。発音と文法を中心にフランス語の基礎を勉強しながら、基本的なフランス語を読んだり、聞いたりして理解力を高めます。1年の終わりには実用フランス語検定試験5級に合格できるくらいの実力が身についているはず。やる気のある人は、11月にチャレンジしてみよう!



フランス人の先生の口頭クラスの授業風景



セーヌ河とエッフェル塔

*実用フランス語検定試験(仏検)は、松山大学が会場となり、毎年6月と11月に実施されています。申し込みは松山大学生協でできます。

■ 言語文化応用科目

2年次のスケジュール

- 4月 まず自分の目標にあわせてクラスを選ぼう！
- 「フランス語の基礎を見直したい」 → **ステップアップⅠ・Ⅱ**
 - 「もっとフランス語で話したい」 → **コミュニケーションⅠ・Ⅱ**
 - 「フランス語を書いてみたい」 → **ライティングⅠ・Ⅱ**
 - 「フランス語で新聞や絵本を読んでみたい」 → **リーディングⅠ・Ⅱ**
 - 「実用フランス語検定試験を目指したい」 → **キャリアアップⅠ・Ⅱ・Ⅲ**
 - 「フランス語の世界をたっぷり味わいたい」 → **フランス語3・4**
- 6月 実用フランス語検定試験4級にチャレンジ
*短期決戦型のあなたは、この時に3級も一挙に突破できます。
- 8~9月 ディジョン・ブルゴーニュ大学 CIEF での夏季語学研修
- 11月 実用フランス語検定試験3級にチャレンジ

3年次のスケジュール

- 春休みまたは夏休み 助成金をもらってフランスで語学研修をしよう
- 11月 実用フランス語検定試験準2級にチャレンジ

..... お勧めしたい履修のモデル

検定対策モデル

キャリアアップ と同時に **フランス語3・4**
キャリアアップ と同時に **コミュニケーション**
キャリアアップ と同時に **ライティング** あるいは **リーディング**

留学モデル

コミュニケーション と同時に **フランス語3・4**

マイペースモデル

コミュニケーション と同時に **キャリアアップ**

ステップアップ の後に **コミュニケーション**

ステップアップ の後に **ライティング** あるいは **リーディング**

1年間フランス語を勉強して、さらに力を伸ばしたい人は、2年次からの以下の応用科目を履修できます。フランス語の基礎を固めたい人にはゆっくり進む**ステップアップ**がお勧め。フランス語会話の楽しみに目覚めた人や、フランスへの留学を考えている人には、ネイティブの先生が担当する**コミュニケーション**がぴったりです。文章を書くのが好きな人は**ライティング**へどうぞ。メールなどの簡単な文章をフランス語で書けることを目標としています。**リーディング**は、まとまった長さの簡単なフランス語を読めるようになることを目指します。**キャリアアップ**は実用フランス語検定試験3・4級合格を目標にします。その他にも、週2コマでフランス語をみっちり

と勉強する2年次配当の基礎科目の**フランス語3・4**もあります。なお、2年次からは、フランスのディジョン・ブルゴーニュ大学付属語学センター（CIEF）への夏季語学研修に参加できます。夏休みの約3週間、美食と歴史的建築物で名高いディジョンで、フランス語とフランス生活にどっぷりとつかりましょう。また、フランス語検定試験3級・4級合格者は学生海外語学研修助成制度への応募資格を手にすることができます。めでたくフランスへ行って研修を修了したら、さらに単位が認定されます。そして帰って来たら実用フランス語検定試験準2級にもチャレンジしましょう。合格のさいには「外国語検定II」の単位取得、その上に奨励金も貰えます。

より詳しいことは4月からのフランス語の教室にて—— ア・ピヤント！じゃあ、また！



ディジョンの旧市街

◎スペイン語

*Hola,
amigos!*
= こんにちは

Bienvenidos al mundo del español
ようこそ、スペイン語の世界へ。

スペイン語は世界で4億人に話されていて、言語使用者数では世界第2位の言語です。特に貿易関係では重要性がますます増しており、日本の貿易においても例外ではありません。スペイン語はスペイン以外でもメキシコや南アメリカのほとんどの国で話され、またアメリカ合衆国でもスペイン語

を話す人々が増え続けており、アメリカを考える上では無視できない言語となっています。スペイン語圏の国々においては、習慣、食べ物、地勢、産業などがそれぞれに異なっていますが、みな興味深い国々です。音楽やダンスでは、フラメンコ、タンゴ、サルサ、クンビア、ボレロ、チャチャチャなどいろんなスタイルがあります。食べ物も様々で、パエージャ、タコス、チョリーソ、アサードなど郷土色豊かです。各国に共通しているのは、家庭や友達の大切さ、宗教、サッカーへの情熱です。ワールドカップ優勝のスペイン、アルゼンチン、ウルグアイ、オリンピック金メダルのメキシコ、などスペイン語圏で盛んなスポーツといえばサッカーです。



スペイン語の発音は日本語に似ていて簡単です。読み方もほとんどローマ字読みです。スペイン語はラテン系の言語であり、スペイン語をマスターすれば、イタリア語やポルトガル語なども習得しやすくなります。

基礎科目1・2ではコミュニケーション能力の基礎固めをします。楽しい授業をします。基礎科目1では、スペイン協会のスペイン語検定の6級のレベルに達します。希望者は1年次の秋には6級を受験します。基礎科目2では、さらに語学力を確実なものとし、スペイン語検定の5級の内容も習い始めます。関心がある人は、**検定対策クラス**でそれ以上のレベルの学習もできます。**コミュニケーション**ではスペイン語圏の国々の文化に加えて、文法や会話も学びます。



◎ 日本語

日本語には、基礎科目と応用科目があります。基礎科目の日本語1・2・3・4と応用科目の応用日本語Ⅰは、外国人留学生の必修科目です。基礎科目では、留学生が入学して即必要となる大学で学ぶための基本的な知識とスキルを身につけます。応用科目では目的に応じた日本語能力のアップを目指します。日本語の科目は大学の専門科目を学ぶ力を支えるための科目ですから、意欲的かつ計画的に取ってください。

■ 日本語基礎科目について

- 日本語1 レポートの書き方を通して、大学生としての学び方を身につけます。
- 日本語2 大学生として必要な日本事情を学びます。
- 日本語3 読むトレーニングを通して、大学で必要となる読解力を養成します。
- 日本語4 レポートの構成要素と表現を身につけます。

■ 日本語応用科目について

日本語応用科目には、応用日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳと言語文化特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳがあります。

■ 応用日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳでは個別のスキルをアップ！！

応用日本語Ⅰでは、レポートを書き、その内容を発表する活動を通して、ゼミでの発表の仕方、書き言葉と話し言葉の違いを学びます。

応用日本語Ⅱでは、自分の意見を人に伝え、また、人の意見を聞くことによって日本語のコミュニケーション能力を高めます。

応用日本語Ⅲでは、ビジネス日本語として、ビジネス場面で使われることばや表現を中心に学びます。ビジネス日本語テストの対策にもなります。

応用日本語Ⅳでは、大学生としてだけでなく社会に出ても役立つよう、敬語をはじめとする待遇表現を中心に学びます。

■ 言語文化特殊講義Ⅰ・Ⅱ(日本語総合能力養成講座)、言語文化特殊講義Ⅲ・Ⅳ(日本語総合能力養成講座)では総合的な運用能力をアップ！！

言語文化特殊講義Ⅰ・Ⅱでは、総合的な日本語能力をアップさせるため、4技能をバランスよく学ぶことができます。言語文化特殊講義Ⅲ・Ⅳでは、より高くバランスのよい4技能のレベルアップにより、高度な日本語運用能力を養成します。日本語能力試験最高レベルのN1合格者にもN1合格を目指す人にも役に立つ講座です。

※ 日本語を選択できるのは外国人留学生のみとなりますので、ご注意ください。



GO ABROAD !
STUDY ABROAD !